



さいばいニュース

Vol.115

公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会

発行所 〒238-0237

神奈川県三浦市三崎町城ヶ島養老子

Tel 046(882)6980

Fax 046(881)2233



ホームページ

新年のご挨拶

公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会

理事長 高橋 征人

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの変異株が次から次へと出現し、収束には至っていません。また、アメリカ合衆国のインフレとロシアのウクライナへの侵攻があり、石油、天然ガスなどが日本の需給に必要な量を確保することが困難になっています。これらに連動し円安が進み、輸入価格が上昇し、物価の高騰が起っています。まさに、世界的に自由な貿易への障害がひろがっています。

日本の賃金水準が物価上昇率に連動することができれば問題はないのですが、賃金が上がり、物価だけが上昇する経済構造が進むと、消費の冷え込みが起りかねません。魚価も同様で、漁業経営に必要な燃油や資材の高騰が心配され、それが魚価の上昇と連動することが必要です。栽培漁業協会も種苗生産に必要な飼育水をポンプで海水をくみ上げています。電気代が昨年と比較すると1.6倍を上回るようになり、種苗生産経費が急上昇しています。魚類・貝類の稚魚・稚貝の飼育に必要な飼育水を確保しつつ、節水できる場所を節約に努めてまいりますが、来年度の種苗単価の値上げを皆様のご理解を得て、お願いすることになるかと思ひます。終わりにあたって、皆様の大漁と安全・健康を祈願し、新年の挨拶とします。

令和4年度 種苗放流事業

昨年後半の種苗放流・供給・斡旋事業はマダイ、ヒラメ、マコガレイ、カサゴ、メバル、アワビ、トコブシ、サザエを行いました。特にコロナ渦のため休止となっていた放流体験イベントが少しずつ復活し、子どもたちが稚魚を放流する姿が戻ってきました。

マダイ



マダイの放流は例年に比べて早く、7月12日の松輪・大楠にはじまり7月22日の久里浜までの14ヶ所で行い、当協会から15万尾、マダイ協力金分として7万2千尾、一般社団法人日本釣用品工業会が東京湾に9万8千尾、公益財団法人相模湾水産振興事業団(以下:相模湾事業団)が福浦から葉山まで7万尾、一般財団法人西部水産振興事業団(以下:西部事業団)が大楠で8千尾、一般財団法人東京湾南部水産振興事業団(以下:南部事業団)が久里浜に2万5千尾、江の島片瀬漁協が9千尾、公益財団法人日本釣振興会神奈川県支部が葉山に4千尾を放流しました。

ヒラメ

ヒラメの放流は6月30日に横浜市漁協金沢支所で組合から5千尾・東京湾地域遊漁協議会より1千尾、7月14日に横浜漁協柴支所で神奈川県釣船業協同組合から1万尾・江の島片瀬で組合より9,463尾が放流されました。7月19日に長井で当協会より1万尾、西部



→2ページへつづく

3年ぶりにイベント復活

コロナ渦を越えて...



新型コロナウイルス感染症流行による影響で各種イベントが中止になっていましたが、3年ぶりに開催できた放流体験もありました。

7月24日に横須賀市の海辺つり公園で「青少年・少女釣り大会」の一環として、マダイ稚魚を1千尾放流しました。

9月12日、三浦市小網代で地元の小学校を招待してマダイの稚魚放流体験がありました。

地元のNPO法人小網代パール海育隊から招待された市内5つの小学校の児童が「大きくなってね」と声をかけながら2千尾の稚魚を放流しました。



荒崎海岸クリーンフェスタ2022が開催され、6月12日にヒラメの稚魚1千尾、10月9日にカサゴ稚魚1千尾がイベント参加者の手によって放流されました。

関係者も久しぶりに開催されたイベントに活気づいていました。

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

相模湾遊漁問題 対話推進協議会

会長 久保田 源太郎

〒250-0021
小田原市早川一〇〇一
TEL 〇四六五-二三二-五九八九
FAX 〇四六五-二三二-五五五四

相模湾水産振興事業団

理事長 武井 正

〒250-0021
小田原市早川一〇〇一
TEL 〇四六五-二三二-五九八九
FAX 〇四六五-二三二-五五五四

東京湾遊漁船業協同組合

理事長 飯島 正宏

〒140-0013
東京都品川区南大井一〇九一六
TEL 〇三三六四-三三三-〇九九一
FAX 〇三三六四-三三三-〇九九七

公益社団法人 全国豊かな海づくり推進協会

代表理事 坂本 雅信

〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町九一六
小伝馬町松村ビル六階
TEL 〇三三五五-一三五〇一
FAX 〇三三五五-一三五〇二

森を育て、海・川をきれいにしましょう
小さな魚は海へかえしましょう

事業団から4,500尾、組合から7千尾・大楠で当協会から5千尾、西部事業団から4千尾、組合から2千尾を放流しました。7月26日に真鶴で相模湾事業団より1万尾、組合より2400尾・岩で相模湾事業団より1万尾、組合より750尾・福浦で組合から1,500尾・茅ヶ崎で組合から3千尾、7月28日に小田原で当協会より1万5千尾・相模湾事業団より1万5千尾、組合から2万尾、7月30日に横浜ベイサイドで当協会から1万尾、横浜埠頭株式会社から3万尾、組合から5,400尾を放流しました。8月2日に大磯二宮で相模湾事業団から1万尾、組合から1,150尾・平塚で当協会から5千尾、相模湾事業団から5千尾、組合から11,380尾・腰越で相模湾事業団から1万尾・鎌倉で相模湾事業団から5千尾を放流し、8月4日に横須賀東部で当協会から1万尾、組合から650尾・みうら漁協南下浦支所金田湾で当協会から5千尾、組合から2,100尾が放流されました。



横須賀東部で鱈カットしたヒラメも放流しました

カサゴ

カサゴは9月17日の横浜市漁協本牧支所で横浜埠頭株式会社から2万5千尾、10月9日に長井でイベントと併せて(公財)日本釣振興会神奈川県支部から5千尾、(株)ワールドスポーツから3千尾が放流され、10月11日に北下浦で横須賀東部漁協から2万尾、南部事業団から1万尾が、10月13日には真鶴・岩・小田原、腰越で相模湾事業団より各5千尾と、大磯二宮漁協から700尾が地先放流されました。



その他

マコガレイは、7月22日に小田原と腰越で相模湾事業団から各5千尾、7月30日に横浜ベイサイドで横浜埠頭株式会社から1万5千尾が放流されました。カワハギは、10月5日に浦賀で南部事業団から1万1千尾、日本釣振興会から6千尾が放流され、一部標識が付けられました。メバルは、10月13日に相模湾事業団より真鶴・岩・小田原・腰越に各5千尾、大磯二宮漁協が550尾を各地先に放流しました。



カワハギの標識づけ



マコガレイ

栽培漁業と資源管理

水産庁は新たな「水産基本計画」を発表しました。水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化を両立させ、漁業者の所得向上と年齢バランスの取れた漁業就業構造の確立を図るため「水産政策の改革」に取り組むことを決定しました。

種苗生産・放流・育成管理等に関して「栽培漁業は資源管理の一環として実施するものであることを踏まえて、以下のとおり、効果のあるものを見極めた上で重点化する」との方針を示しています。①従来実施してきた事業については、資源評価を行い、資源造成効果を検証する。検証の結果、資源造成の目的を達成したものや効果が認められないものは実施しないこととする。②資源造成効果の高い手法や対象魚種については、今後も事業を実施するが、その際、国は広域魚種を対象として必要な技術開発・実証を行うなど、都道府県と適切に役割を分担する。また、広域回遊魚種等については、複数の都道府県が共同で種苗放流等を実施する取組を促進する、としています。

資源評価の方法としてMSY(最大持続生産量)を基準として評価することになっています。ただし、干潟や藻場などの浅海域が喪失や荒廃している状況では、親を残せば生産性が保障されるということはありませんので再生産の場を確保するためには相模湾

など、都市近郊の沿岸域においては、大規模な環境回復措置と持続的な種苗放流が必要です。また、生産を中止した場合、技術の継承維持が困難となることも考えられます。種苗生産はマニュアルがあるからいつでも再開できるかという、そうはいきません。種苗生産は日常の細かな技術がないと、体制・予算・施設の維持管理を確保することが困難です。栽培漁業協会の円滑な運営ができなくなる恐れがあります。今まで放流対象種としていた種類で放流効果が明らかでない種類を再度、調査しなおすことも必要となってくるでしょう。また、沿岸の多様な漁業種類で漁獲される栽培対象種の漁獲規制はかなり困難な状況が想像されます。

多獲性魚類で限られた水揚げ港で漁獲の規制は可能となりますが、津浦浦で少量の水揚げを規制していくことは困難と言わざるを得ません。この場合はやはり自主管理の機運を高めていくことが必要でしょう。小さく再生産に加わらない大きさの魚は獲らない、発育段階で小さな魚・貝が生息している海域は禁漁区とする、産卵期の魚は獲らないと従来行ってきた、漁業規制を改めて認識して守っていくことが求められます。



募金型自動販売機設置のお願い

公益財団法人神奈川県栽培漁業協会とダイドードリンコ株式会社は、自販機設置に伴う寄付に関する覚書を交わしました。

栽培漁業協会を応援する寄付金型自動販売機の設置場所を提供するロケーション先は、自販機を設置し、製品を販売することにより、その売り上げ収益の一部を栽培漁業協会に寄付することを目的としています。関係各位におかれましては、ご協力のほどよろしく申し上げます。



あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

神奈川県しらす船曳網漁業連絡協議会

会長 杉山 武

〒254-0803
平塚市千石河原二八一三
TEL 〇四六三二二一〇一四六
FAX 〇四六三二二一五七二九

一般財団法人 東京湾南部水産振興事業団

代表理事 山下 克範

〒230-0831
横須賀市久里浜八一九一五
TEL 〇四六一八三四一三五九六
FAX 〇四六一八三四一三六九〇

一般社団法人 神奈川県漁業無線協会

会長理事 小山 恭弘

〒2308-0207
三浦市三崎町城ヶ島養老子
神奈川県水産技術センター四階
TEL 〇四六一八八二二七八四
FAX 〇四六一八八二二五二三

日本漁船保険組合 神奈川県支所

運営委員長 鈴木 清

〒2306-0051
横浜市金沢区富岡東二一〇二二
TEL 〇四五七七二一七三〇一
FAX 〇四五七七八一三九二〇

神奈川県漁業協同組合連合会

代表理事会長 高橋 征人

〒2306-0051
横浜市金沢区富岡東二一〇二二
TEL 〇四五七七三三六七七七

基本財産の増養殖振興基金を特定資産に移行

基本財産の増養殖振興基金2億円を特定資産に移行しました。令和4年度第1回理事会(令和4年5月27日)と令和4年度第1回評議員会(令和4年6月17日)基本財産を特定資産に移行することが承認されました。

令和4年度に財団法人から公益財団に移行するにあたり、1億5千万円を基本財産から特定資産に移行しましたが、その後、経営安定化資金として、金融機関から融資を受けるにあたって借金の担保として使ってきましたが、借金が固定化して、残りが1千万円になってしまいました。栽培漁業協会は、4月から8月までにマダイ種苗生産費や種苗供給費を5~6千万円ほど必要としますが、この間には入金がありません、借金によって

運営されています。いままで、アワビの種苗生産の不調などで、この借金が返せない状況になり、基本財産を特定資産に移すことで、借金の担保を確保する必要ができました。

今後、借金の主な原因であるアワビ種苗生産の筋委縮症ウィルスに対する防疫対策を行い、また、新しい防疫対策の紫外線殺菌装置を導入する施設整備をすることで借金を返済できるように努力していきます。

また、サザエ種苗を積極的に県外の漁業団体に販売することや現在、県内種苗は水産技術センターが県内漁業協同組合に供給していますが、体制や施設の準備が整い次第、県内種苗も栽培漁業協会が供給できるよう計画しています。

協会事業への寄付

シマノ・横浜ゴム・KTグループから



<shimano>

釣り具メーカー(株)シマノから今年も100万円の寄付をいただきました。同社は、釣り具だけでなく季節に合わせた釣りファッションや、最近ではYouTubeにも多くの動画チャンネルを持ち、多様な内容が楽しめるようになっています。

<KTグループ>

横浜ゴム株式会社から、活動支援金として150万円を寄付いただきました。8月に行われた贈呈式では、山石昌孝社長、宮本常務、神奈川ハマタイヤ株式会社の品田社長が来所されました。10月には同社の親会社であるKTグループの上野健彦会長と神奈川トヨタ商事株式会社の鈴木取締役が来所され、合計15万円を寄付していただきました。



横浜ゴムから寄付

栽培漁業って何③

公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会 専務理事 今井 利為

マダイ⑬

マダイの漁業はどのようなものがある

マダイを対象とする漁業は、全国では船ひき網釣り、はえ縄、刺し網、小型底びき網、まき網です。神奈川県では釣り、刺し網、定置網が多く、後に述べる遊漁者が釣る量が圧倒的に多いのが特徴です。神奈川県で漁獲しているマダイは平成17年で45トンです。これに対して遊漁で採っているマダイの量は70から90トン前後と推定しています。このことから、遊漁で漁業の1.5から2倍を採っていることとなります。



漁獲されたマダイ

神奈川県沿岸を車で走っているとマダイ釣りの遊漁船の看板を良くみかけます。神奈川県では、マダイ釣りの遊漁船が60隻ほど出ています。このほか仕立船といって団体や個人で借り上げてマダイ釣りを楽しむ人たちもいます。マダイ釣りはかつて道楽釣りでした。釣り方は、漁業者が使っているエビテンヤと言う仕掛けであり、横須賀市鴨居では今でもこの釣り方を引き継いでいます。昭和58年ころ、イナダを対象としたコマセを使った釣り方が始まり、その釣りにマダイが掛かったのを契機にこの釣りが普及していきました。コマセ釣りは、テンヤ釣りと比較すると、素人でもマダイが釣れる漁法です。この漁法が広まると同時期にマダイ種苗放流が始まったため、神奈川県のマダイの栽培漁業は、当初の漁業振興の目的のみならず、レジャーに大きな影響を与える結果となったのでした。特に、大都市近郊の漁業は、漁業者の高齢化と減少に著しいものがあります。この中で、漁業と遊漁の関係は兼業化に進んでいます。漁業と遊漁は同じ資源の利用を巡って競合する相手となります。

放流経費をだれが負担するか

魚や貝の稚魚・稚貝の種苗を生産するためには、経費を必要とします。平成20年度にマダイの種苗生産経費は人件費を含め2700万円ほどです。種苗1尾当たり27円程度です。漁業や遊漁船を営むためには、燃油、漁具、船の償却費、人件費、その他の経費が必要です。天然資源を漁獲するのであれば、魚はただですが、人工種苗を対象とすれば、その種苗の生産と放流の経費が掛かります。

アワビやサザエは主に共同漁業権内に放流し移動が少ないので、放流種苗経費は、共同漁業権を管理する漁業協同組合が負担することになります。また、内水面漁業では、漁業法によって河川で種苗放流などの増殖行為を行えば、入漁料を遊漁者からとることができるところが、海で種苗を放流した場合、放流の経費を負担した人とその魚種を漁獲した人の関係が明らかでなく、放流経費を負担する法的根拠はありません。海の資源の場合、獲った人は天然物と放流物の区分をするには、標識でも付いていない限り困難です。また、河川の放流と違って、放流地点からの移動範囲がどの位かも種類、大きさ、時期などによって異なります。このことから、放流した魚を誰が獲ったか分かりません。それでも、受益者負担を原則とする栽培漁業の経営には、受益を受ける人が誰であるかを特定する必要があります。

前にも述べましたが、マダイの種苗が、放流場所からどの範囲に移動し、どのくらい成長し、漁業でどのくらい、遊漁でどのくらいの量が獲られているか30数年の調査で明らかにされてきました。



釣り上げられたマダイ



マダイ遊漁船

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

焼肉食堂
※和牛ブランドカルビ 一〇〇〇円
店主 石坂 幸央
〒240-0104
横須賀市芦名二二〇-二二
TEL 〇四六-八五七-一五二九
■定休日：毎週火曜・平日の月曜日

代表取締役社長 藤木 治夫
〒720-0203
広島県福山市田尻町四二八九番地
TEL 〇八四-九五六-三四七三
FAX 〇八四-九五六-三四七四

クローレラ工業株式会社
営業本部技術特販部
〒833-0056
福岡県筑後市久富一三四三
TEL 〇九四-二一五-二二六一
FAX 〇九四-二一五-一七二〇三

株式会社鈴木組
代表取締役 脇山 俊
〒259-0201
足柄下郡真鶴町真鶴九九五-一
TEL 〇四六-五八-五五五五

NPO 法人リビエラ未来創り
プロジェクト
代表理事 渡邊 華子
〒249-0001
逗子市小坪五-二十三-九
TEL 〇三一-五四七四-八〇〇八

かながわ漁協探訪 ～葉山町漁業協同組合～

写真提供：葉山町漁業協同組合



葉山町の漁業は、主に刺網・採介藻(みづき・裸潜り)・たこつぼ(たこかご)と、ワカメ養殖。市場が無いため、獲れたものは漁業者自身が営業をして買い手を見つけ、値段交渉し、売りに行く、という流れになっています。9年前から真名瀬で月に一度の鮮魚朝市がスタートし、3年前から葉山港に組合の直売所がオープンしたことで、地元的新鲜な海産物が気軽に買えるようになりました。

取材に応じて下さった組合員



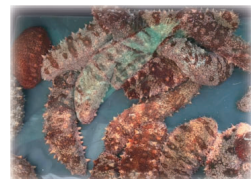
ブルーカーボンプレジット

藻場は陸上の森林のように二酸化炭素を吸収、貯留する働きがあり、「ブルーカーボン」と呼ばれています。これらを企業などが「クレジット」として購入し、排出量の埋め合わせにする取り組みがあります。先日、葉山の藻場再生事業でこれが認証され、町の漁業の追い風になることが期待されています。

漁師さんオススメ!これから旬のお魚

冬に獲れる代表的な魚といえばアンコウがありますが、葉山でも刺し網で漁獲されます。あん肝が入っていれば高値で売れます。そんなアンコウですが、やはりあんこう鍋がオススメだそう。肝を味噌と一緒に鍋で炒って、そこに水を入れてスープに仕立てるそうです。コクと旨味がたっぷりのあんこう鍋、直売所で見かけた際は是非チャレンジしてみてください。

葉山漁協海産物直売所：葉山町堀内 50-20
土日のみ営業 / 10～15時※荒天時はお休み
真名瀬朝市：葉山町一色 2516 / 9～11時
毎月第2土曜日(4月からは第2日曜日)
※7・8月はお休み
ハヤママーケット日曜朝市
日曜日 8時半～
HAYAMA STATION
水曜定休 / 9～19時



ナマコも冬が旬



葉山漁協海産物直売所 Instagram



真名瀬朝市 Facebook

令和4年度のマダイ生産状況



今年度のマダイ生産は、例年より1週間ほど早い4月7日に始まりました。餌料培養の期間を短縮することによって燃料等の経費を大幅に削減し、餌料への栄養強化を工夫して奇形率を下げることに成功しました。3年目となる陸上での中間育成も軌道に乗り、家庭用LED照明の継続使用や、放流前の給餌量の調整等で物価高騰にも対応できるようになりました。岸壁放流も各漁協の協力のもと定着してきて、沖合放流で生じる大型魚の捕食圧による生残数の低下も期待しています。

編集後記

温暖化や海水温上昇、そして磯焼け拡大。昨年も海洋環境は変わり続けました。そんな中、当協会ではアマモの栽培を始めました。海洋科学高校から株を受取り、育てています。生長も順調で、いずれ海に移植できれば、と考えています。変わりゆく環境を注視しながら、できることには積極的に取り組んでいきたいと思えます。

職員紹介



協会は、10月1日付で宮園怜子さんを職員として採用しました。宮園さんは、管理課で経理など事務の仕事を行います。関係者の皆様におかれましては、今後のご指導・ご鞭撻をお願い致します。<宮園怜子職員> 令和4年10月より当協会の事務職として採用されました。種苗生産については素人ですが、これから栽培協会の活動等を勉強しながら、協会はじめ、漁業関係者の皆様のお役に立てるよう精進して参りますので、よろしくお願い致します。



あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

Kitamura

株式会社 北村

〒604-0051
京都市中京区二条油小路町 291
TEL 075-221-6695

サントリー ビバレッジ ソリューション 株式会社



IMUSE

プラスマ
乳酸菌